

## 第三者評価結果報告書

総括	
対象事業所名	アスク吉野町保育園
経営主体(法人等)	(株)日本保育サービス
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒232-0013 横浜市南区山王町3-24-8港横浜ビル1階
設立年月日	平成19年4月1日
評価実施期間	平成25年8月～平成25年11月
公表年月	平成26年5月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者事業部
評価項目	横浜市評価基準

### 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）

#### 【施設の特徴】

アスク吉野町保育園は定員48人、現在席55名の中規模園で、株式会社 日本保育サービスの傘下として平成19年に開設され、横浜市地下鉄ブルーラインの吉野町より徒歩3分の保護者の送迎、通勤に便利な場所に立地している。

二つに分かれている園庭は、一つは滑り台、砂場、隠れ家ハウスなどの固定遊具の設置し、もう一つはシャボン玉遊び、竹馬遊びなどに使用している。また、園庭の一隅ではプランターを利用して季節の草花や野菜などを園児、職員一緒になった栽培し、収穫した野菜は、毎週クラス毎に行われるクッキング保育の食材としても活用している。

近隣には、多くの自然の豊富な公園があり、子どもたちの発達に合わせて、全力で駆けずり回れるグラウンドや遊具などを、職員は選択しながら利用している。

園は設置法人理念、基本方針に加えて園独自目標「物を大切にしましょう」「元気にあいさつをしましょう」を職員全員で打ち出し、保育を進めている。

#### 【特に優れていると思われる点】

##### 1. ワンフロア園の特徴を生かした職員の連携と異年齢保育

ワンフロア保育室の利点を生かし、全職員が全園児の一人一人の個性に精通するように努め、集団で保育に当たっており、職員間の子どもに関する情報交換、共有に力点を置いた運営を進めている。結果、毎年新入園児受入れに際しても、在園児に不安を感じさせず、安定した子どもの保育園生活が得られている。また、異年齢保育にはことさら力を入れており、年度前半には3～5歳児を中心にカリキュラムを組み、後半に入ると2～5歳児まで範囲を広げた異年齢保育を行っている。

##### 2. きめ細かいトイレトレーニング

トイレトレーニングは保護者の意向をもとにして、1歳からスタートしているが、子ども一人一人の排尿時間を全て記録し、リズムを把握の上、情報は関係する全職員で共有し、一人一人の発達状況に合わせ、子どもに無理がかからぬように職員間で連絡をとりながら行っている。特に保護者に対しては連絡を密にし、家庭内と保育園内では、取り巻く環境の違いによる“子ども一人一人のあり方の違い”の説明や、“保護者には絶対に焦らぬように”との説明に時間を掛けるようにしている。

##### 3. 子どもの心によりそう保育実践を目指した園内研修テーマによる推進

園内研修として、年度のテーマを決めて毎月全職員が持ち回りで事例を挙げて検討している。平成25年度は「子どもへの言葉がけ」をテーマとし、職員全員で子どもへの自分では気が付かない否定的言動などを戒めるべく、話し合いながらスキルアップを目指している。

### 【特に改善や工夫などを期待したい点】

#### 1. 保護者への子どもの保育園内生活報告のさらなる伝達の工夫

保護者アンケートからは、送迎時の子どもの保育園生活内容など、保護者への情報伝達に不満が多い結果となっております。園長、職員とのヒアリング結果ではかなり重点課題として対処し、努力されている実態とは伺えましたが、このような保護者評価を前向きに取られ、さらなる対応の工夫が望まれます。また、感染症の流行など重要情報の保護者への伝達方法では、保護者により目立つような玄関フロア内の掲示方法の工夫が期待されます。

#### 2. 地域子育て支援への努力

地域保護者の園内見学に際しては、見学後アンケートを取るなど、地域ニーズの把握には努めておられますが、アンケート設問内容の工夫などを加味して、今一つ地域ニーズ実態把握への努力を期待いたします。また、保育の専門家として、地域子育て家庭に向けた保育の講習会、研究会などの開催や地域保育関係諸グループとの協働も期待いたします。

### 評価領域ごとの特記事項

<p>1.人権の尊重</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの言葉遣いや対応については、否定的言動を戒めるべく、25年度の園内研修テーマを「子どもへの言葉がけ」とし、全職員一丸となって話し合いながらスキルアップに取り組んでいる。</li> <li>・事務室の奥まったコーナーは子どもと職員の1対1で話し合うことができる貴重な場所として利用されている。また、必要に応じてほかの子どもから離れプライバシーを守ることもできる。</li> <li>・個人情報保護マニュアルにより、守秘義務や個人情報の処理方法等について、入社時に説明があり、全職員が周知している。個人情報の取り扱いについては、保護者へは入園時の説明会で説明し、了解を得ている。</li> <li>・性差に関しては、遊びや役割、食事の席、持ち物、服装、クラス名簿など性別による区別はしていない。名簿は五十音順とし、身長順に整列し、グループ分けなどは、男女別に分けられていない。</li> <li>・虐待が疑わしい場合は、設置法人担当部署や南区こども支援課に相談し、他機関と連携の上対応している。支援が必要と思われる保護者には、声掛けや状況に応じて援助や相談を行っている。</li> <li>・外国籍や帰国子女の子どもに加え、保護者の国籍の違いで子育て方針など文化の違いがある場合は個人面談で充分考え方を聴取し、保護者要望を尊重して対応している。</li> </ul>
<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同伴の入園前面談では、保護者には入園前の家庭状況調査票など、子どもの状況記録を提出してもらい、子どもについてはほかの職員が遊ばせながら観察を行っている。</li> <li>・ならし保育については、入園前に充分保護者に説明し、1週間から十日を目安にし、子どもの様子や保護者と要望などによって柔軟に対応している。</li> <li>・施設には空気清浄機3台を設置して空気清浄に配慮し、そのほか排煙機や入口のドア、非常口などを開放して換気に努めている。また、消臭効果のある壁を使用して、臭いがこもらないようにしている。</li> <li>・各部屋に室温・湿度計を付けて計測・確認し、日誌に記録している。</li> <li>・保育室は、0,1歳児室はパーテーションで仕切り、食べる・寝るの空間を確保しているが、2～5歳児室については職員は、食事後の消毒拭き掃除など清潔</li> </ul>

	<p>維持し対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室はワンフロアをパーテーション、サークル、背の低い収納棚で仕切り、臨機応変に空間の拡大縮小を図り、工夫して運営している。</li> <li>・自由遊び時間では、テーブルの上に職員がさりげなく用意するぬり絵やパズルに子どもたちは夢中になったり、箱から自分で取り出してきたおもちゃで遊んだり、一人遊びを楽しんでいる。</li> <li>・園ではリトミックや体操教室・英語教室、製作の時間を設けて、発達に応じて子どもたちが自由に表現できるようにしている。子どもたちは各種教室で覚えた歌や踊りを、自分たちの気の向いたときに自由に体を動かしている。</li> <li>・園庭では、オクラ、さつまいも、ラディッシュ、人参などの野菜を栽培し、野菜の成長過程を学ぶと同時に、収穫した野菜は、クッキング保育等の食材として使用している。</li> <li>・授乳は保護者と相談しながら、一人一人のペースに合わせた時間間隔で授乳している。</li> <li>・食事は子どもにあわせて職員が量を調節し、子ども自身が食べ終えたことに満足ができるように配慮している。また個人のペースを尊重して職員は優しく声掛けをしながら必要なら介助も行っている。</li> <li>・栄養士と調理スタッフは自らクラスに入り、進み具合を確認したり、子どもたちと話をしながら様子を観察している。</li> <li>・運営委員会で給食試食会を行っている。0歳児の保護者には離乳食の試食も行い、栄養士が栄養や味付けについて詳しく説明している。</li> <li>・保護者との面談週間を設け、相談内容を記録して、担任職員が変わっても継続的にフォローできるよう体制を整えている。</li> <li>・園は特に配慮を要する子どもも受け入れており、月一回ケース会議を開き、職員同士、子どもの様子や対応の仕方など共通理解を図っている。</li> <li>・午睡時の乳幼児突然死症候群の対策としては、0歳児は5分に1度、1歳児は10分に1度の呼吸確認し記録している。年長は、就学に向けて適切な時期より午睡を取りやめている。</li> <li>・トイレトレーニングは保護者の意向のもと1歳児からスタートするが、子ども一人一人の排尿時間を全て記録し、リズム把握の上情報は全職員で共有し、保護者との連携のもと、子ども一人一人の発達状況を踏まえ、子どもに無理がかからないように行っている。</li> </ul>
<p>3.サービスマネジメントシステムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育課程は子どもの最善の利益を考えた保育理念や基本方針に則って作成し、地域の働く保護者の実状に配慮し、急な延長保育要請や夕食サービスの提供など可能な限り対応している。</li> <li>・年間指導計画・月案・週案は保育課程に基づいて0~2歳児は個別に、3歳児以上はクラスごとに作成している。</li> <li>・理解できる子どもクラスには、毎朝今日はどんな活動を行うのか説明して保育に入っている。職員は考え方を押し付けるのではなく、子どもの言葉に耳を傾け、週案は毎日見直し、発達状況にあわせて修正をしている。</li> <li>・園は年間、月間など各指導計画の中で振り返り、課題や改善点を見出して次の計画につなげている。また、職員はみずから自己評価を行い、職員会議やミーティングの中で、工夫や改善事例などを話し合い、一層のサービス向上に役立てている。</li> <li>・食物アレルギーのある子どもについては、かかりつけ医の指示書をもらい、その指示書に従い代替食や除去食を提供している。</li> <li>・一人一人の健康診断、歯科健診の記録があり、入園時からの履歴がひと目でわかるようになっている。受診結果は保護者へ連絡している。</li> <li>・毎日の清掃チェック表により園内外の清掃、おもちゃなどの消毒も行い、清</li> </ul>

	<p>潔に保つようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理マニュアルに従って、職員は入社時研修を行っており、職員会議・ミーティングで話し合い、全職員に周知を行っている。</li> <li>・苦情受付窓口として、園長と主任の名前および設置法人の苦情受付窓口を玄関の壁に掲示している。また第三者委員の名前と連絡先を掲示しており、直接、意見や相談、苦情を申し立てることができる。</li> </ul>
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園生や近隣の住民を夏祭りなどの園の行事に招待し、園児と一緒に楽しんでいる。また子ども達が散歩や遊びに行く近所の公園の掃除を行うと言う計画をしているほか、地域に住む女子大学生の保育実習を受け入れて近隣との友好関係を築くための取り組みを行っている。</li> <li>・毎年、地域の南吉田小学校の体育館を借りて運動会を実施したり、朝の散歩で横浜市管理の「蒔田公園」や「富士見川公園」などを訪れて、利用している。朝の散歩の時、公園や道で出会う地域の人びとと挨拶を交わし、交流を図っている。</li> <li>・横浜市男女共同参画センターの「フォーラム南太田」での生活発表会に園児が参加し、保護者や旧職員と交流を図っている。</li> <li>・毎週木曜日、地域住民向け子育て相談会を開催し支援ニーズの把握に努めている。また南区子ども家庭支援課などの関係機関や、幼保小会議に園長が出席して諸課題の研究会を持っている。</li> <li>・地域住民との交流の場が少ない現状をどう改善するか、年度末や年始めに職員会議で話し合っている。</li> <li>・延長保育・障がい児保育・産休明け保育など、地域の子育てを支援するためのサービスを提供しているほか、園の栄養士などによる育児相談会の門を開けている。</li> </ul>
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の育成に関しては設置法人が策定した「人材育成ビジョン」に基づき、各職員の持つ知識や経験に照らし、今後どう育成するかを明確にした人材育成計画が策定されている。</li> <li>・緊急時や園長不在時、状況に応じ自主判断が出来るよう、園長は一部職員に権限委譲し責任を持たせている。</li> <li>・組織や各職員が守るべき法、規範、倫理等は就業規則や業務マニュアルに明記されている。社内にコンプライアンス委員会が設けられており、趣旨が職員更衣室前に掲示されている。他施設での不正、不適切事案は園長会議などで報告され、園長は速やかにそれを全職員に伝え、そのような行為を絶対に行わないよう啓発している。</li> <li>・エコ活動として、行事後のゴミは各自持ち帰る、エコキャップ活動にも参加するなど、ゴミ減量化に取り組んでいる。不用な電気を消す、各室に扇風機を設置しエアコンの温度調整するなど省エネに取り組み、プランターで朝顔などの草花、おくら・さつま芋・ラデッシュなどの野菜類を育て、緑化の推進にも取り組んでいる。</li> <li>・園長は重要な意思決定やその変更に当り、職員会議などで意見交換した上、理解を求め、保護者には運営委員会で説明して了解いただいている。</li> <li>・設置法人の保育理念と、基本方針として①子どもの「自ら伸びようとする力」「後伸びする力」を育てる保育 ②子供の感受性や好奇心を自然な形で伸ばす「五感で感じる保育」の充実をもとに、園目標は子どもにもわかるように「元気に挨拶しましょう」「物をたいせつにしましょう」を職員で策定し、掲示している。</li> <li>・園運営に関し、外部の産業総合研究所・研究員を招き、事故や災害から子どもの命を守る、傷害予防の意見や技術を取り入れる努力をしている。</li> </ul>

## 6. 職員の資質向上の促進

- ・各職員の資質向上に向け個人別の年間研修計画があり半期に一度、自己評価を行ない見直しをしている。また職員は職位別研修や、自由選択研修を定期的に履修している。非常勤職員は社内研修を中心に履修している。研修の成果は会議などで研修資料を回覧・説明して、全職員が成果を共有するようにしている。
- ・全職員の研修受講記録が整備されており、各人の研修内容を半期ごとに評価し、見直している。
- ・園長は非常勤職員の指導担当者として、非常勤職員に毎日の連絡ノートなどの資料を必ず見るよう義務づけ、職員と同一な資質向上に取り組んでいる。各職員の研修受講実績は点数管理して、資質査定の資料としている。
- ・設置法人の本部に企画部門やエリアマネジャー部門などがあり、園の姿を客観的に見られる異部門職員を加えた検討チームにより、課題を解決する仕組みがある。
- ・園は主任が配置されていないので、園長はフロアー・リーダーを主任代行に指名し、園長補佐として、各職員の能力・経験に合わせて助言や指導を行っている。園長は職員のシフト調整を行う中で、各職員の朝の体調に気を配り、精神的・肉体的に良好な状態で勤務できるよう配慮している。
- ・実習生では女子大生数人を受入れて来た実績がある。日々の実習につき助言をしたり、反省会を開いて次の活動計画・方針を設定するための指導をしている。

## 評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

### 評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人の保育理念と、基本方針として①子どもの「自ら伸びようとする力」「後伸びする力」を育てる保育 ②子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす「五感で感じる保育」の充実をもとに、園目標は子どもにもわかるように「元気に挨拶しましょう」「物をたいせつにしましょう」を職員で策定し、掲示している。</li> <li>・保育課程は子どもの最善の利益を考えた保育理念や基本方針に則って作成している。</li> <li>・保育課程は地域の働く保護者の実状に配慮し、急な延長保育要請や夕食サービスの提供など可能な限り対応している。</li> <li>・年間指導計画・月案・週案は保育課程に基づいて0～2歳児は個別に、3歳児以上はクラスごとに作成している。</li> <li>・理解できる子どもクラスには、毎朝今日の活動の内容について説明して保育に入っている。</li> <li>・子ども一人一人をよく見て、発達過程に合わせてカリキュラムを進めるようにしている。</li> <li>・職員は考え方を押し付けるのではなく、子どもの言葉に耳を傾け、週案は毎日見直し、発達状況にあわせて修正をしている。</li> </ul>
<p><b>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同伴の入園前面談では、保護者には入園前の家庭状況調査票など、子どもの状況記録を提出してもらい、子どもについてはほかの職員が遊ばせながら観察を行っている。面談内容は面接シートに記録・ファイルし、いつでも内容を確認しながら保育を進められるようにしている。</li> <li>・ならし保育については、入園前に充分保護者に説明し、1週間から十日を目安にし、子どもの様子や保護者と要望などによって柔軟に対応している。</li> <li>・0～2歳児クラスは個別に連絡ノートを使用し、家庭の様子や保育園での様子を詳細に記録し、伝え合うようにしている。3歳児以上については、その日の様子を、職員が口頭で伝えるとともに、クラスごとに活動ノートを用意し、当日の活動状況が保護者に理解できるようにしている。</li> <li>・指導計画は作成前にはクラスリーダーを中心に職員同士で当月の振り返りを話し合い、翌月・翌週の月案・週案を作成している。</li> <li>・保護者の意向は送迎時での話や個人面談等でくみ取るようにし、指導計画に反映するようにしている。</li> </ul>

### I-3 快適な施設環境の確保



- ・清掃は衛生マニュアルに基づいて、12時過ぎ、夕方の2回行っている。さらに必要なら随時行う。終了後には清掃記録表に記録している。
- ・施設に3台の空気清浄機を設置して、空気清浄に気がつかっている。さらに排煙機や入口のドア、非常口などの開放によって換気に努めている。また、消臭効果のある壁を使用して、臭いがこもらないようにしている。
- ・各部屋に室温・湿度計を付けて確認し、日誌に記録している。
- ・周囲がガラス張りで十分な陽光が差し込むが、強い日差しはカーテンを引いて調整している。
- ・保育室は、0,1歳児、2～5歳児でそれぞれワンフロアでクラスごとに部屋が分かれていないため、職員同士で週案の編成を工夫し、お互いのカリキュラムの邪魔にならないように配慮している。
- ・ワンフロアをパーテーション、サークル、背の低い収納棚で仕切り、臨機応変に空間の拡大縮小を図り、工夫して運営している。
- ・0,1歳児室はパーテーションで仕切り、食べる・寝るの空間を確保しているが、2～5歳児室については職員は、食事後の消毒液による拭き掃除などで清潔を維持している。
- ・ワンフロアのため朝夕の合同保育時や自由遊びの時間帯など、一日中、異年齢交流での接触の時間が多い。
- ・沐浴・温水シャワー設備があり、乳児、幼児のお尻かぶれなどに対応している。温水シャワーは夏のプールプログラム後にも使用し、使用後はその都度清掃して常に清潔を保つようにしている。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ・0～2歳児は個別指導計画を作成している。作成時は、職員同士で話し合ったり、送迎時の話から保護者の意向を取り入れ作成をしている。特別に支援を必要としている子どもの場合は3歳児以上でも個別指導計画を作成する。
- ・指導計画は、クラスリーダーを中心に月一回のケース会議で検討し、子どもの発達に合わせて見直している。重大な変更がある場合には事前に面談や送迎の際、保護者に説明するようにしている。
- ・子どもや家庭の情報は入園時に家庭調査票、児童健康調査票を保護者から提出してもらい、個別のファイルに綴じている。入園後の子どもの成長・発達の様子については、0～2歳児は毎月、3～5歳児は3か月ごとに児童票に記録している。子どもの情報は個別にファイルし、職員はいつでも見られるようにしている。
- ・進級時は児童票をもとに、新旧クラス担任間で引き継ぎを行い、重要な申し送り事項はケース会議録に記録し伝達している。
- ・保育所児童保育要録は担任が中心でまとめ、園長が確認の上作成し、小学校に届けている。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・園は特に配慮を要する子どもも受け入れており、月一回ケース会議を開き、職員同士、子どもの様子や対応の仕方など共通理解を図っている。
- ・園では門から玄関までもスロープを作り、車いす対応が可能で保育室もワンフロアー、バリアフリーになっている。
- ・ほかの子どもたちとの関係については、不得意なこと、出来ないこともその子の個性として扱い、お互いに認め合う関係樹立を支援している。
- ・虐待が疑わしい場合は、設置法人担当部署や南区こども支援課に相談し、他機関と連携の上対応している。支援が必要と思われる保護者には、声掛けや状況に応じて援助や相談を行っている。
- ・食物アレルギーのある子どもについては、かかりつけ医の指示書をもらい、その指示書に従い代替食や除去食を提供している。
- ・食物アレルギー食を提供する際は、誤食事故を防止するために、トレーの色を分け名前を貼り、アレルゲンを明記している。提供の際には、栄養士とクラスを受け持つ複数の職員でチェックし配膳している。
- ・外国籍や帰国子女の子どもに加え、保護者の国籍の違いで子育て方針など文化の違いがある場合は個人面談で充分考え方を聴取し、保護者の要望を尊重して対応している。

### 評価分類

### 評価の理由（コメント）

### I-6 苦情解決体制



- ・苦情受付窓口として、園長と主任の名前および設置法人の苦情受付窓口を玄関の壁に掲示している。
- ・第三者委員の名前と連絡先を掲示しており、直接、意見や相談、苦情を申し立てることができる。
- ・運営委員会やクラス懇談会で要望や苦情を聴いたり、行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・外部への苦情の申立てについては、入園のご案内に南区のこども家庭支援課の連絡先を記載している。
- ・苦情があった場合は、園長に報告し、職員会議等で検討している。苦情の内容は職員用連絡ノートに記載し、全職員に周知している。また、保護者には手紙や掲示で伝えている。過去に受けた苦情に関しては、クレーム受理表に記載の上、ファイルで保管をしている。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="193 226 523 257">Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃは子どもの希望にそった玩具ケースを職員が持ちだし、子どもは自由に選びとって遊んでいる。</li> <li>・ワンフロアの保育室をビニールテープを床に貼り、仕切ったり、ままごとコーナーを作ったりして、遊びごとに落ち着いて遊べる環境を工夫している。</li> <li>・自由遊び時間では、子どもたちは、テーブルの上に職員がさりげなく用意するぬり絵やパズルに夢中になったり、箱から自分で取り出してきたおもちゃで遊んだり、一人遊びを楽しんでいる。3歳児以上は各自に自由画帳・クレヨンを常備し、粘土も園で用意している。制作コーナーには糊、ハサミ、色鉛筆など制作に必要なもの一式が揃っており、子どもたちが朝夕の自由遊び時には自由に取り出して遊べるようにしている。</li> <li>・園ではリトミックや体操教室・英語教室、製作の時間を設けており、発達に応じて子どもたちが自由に表現できるようにしている。子どもたちは各種教室で覚えた歌や踊りを、自分たちの気の向いた時に自由にやってみる姿も見られる。</li> <li>・子ども同士のけんかについては、職員は危険がないように見守り、双方の言い分を聞きながら、自分たちで解決できるように支援している。</li> <li>・朝夕は合同保育を行い、異年齢の関わりを大切にしている。2～5歳児はカリキュラムの中で異年齢の縦割りグループ活動を実施している。年長児は小学校入学が近付くと、午睡明けなどに年少児の着替えを手伝ったりしている。</li> <li>・天気の良い日には近隣の公園に出向き、アスレチックや広場でのリレー、鬼ごっこなど年齢や発達に合わせて公園を決めたり、運動を選択している。乳児はバギーによる園周辺散歩や周辺公園での日向ぼっこなど年齢に合わせて実行している。体調のすぐれない子に関しては、皆が園外に出掛けている際も事務所やほかのクラスでゆっくり過ごせるように配慮をしている。</li> <li>・子どもたちが散歩するときは、地域の方々や近隣の保育園の子どもたちに挨拶をし、地域の方々とのふれあいを大切にしている。園の周辺には緑が豊富な大きな公園がたくさんあり、その中で、動植物の観察、木の実や虫を捕ったりして、季節ごとに自然とふれあう機会を設けている。</li> <li>・園庭では、オクラ、さつまいも、ラディッシュ、人参などの野菜を栽培し、野菜の成長過程を学ぶと同時に、収穫した野菜は、クッキング保育等の食材として使用している。</li> </ul>

## II-1 保育内容[生活]



- ・授乳は保護者と相談しながら、一人一人のペースに合わせた時間間隔で授乳している。授乳は抱っこをし、目を合わせながら与えている。
- ・食事は子どもにあわせて職員が量を調節し、子ども自身が食べ終えたことに満足ができるように配慮している。また個人のペースを尊重して職員は優しく声掛けをしながら必要なら介助も行っている。
- ・幼児は当番が職員と一緒に配膳をし、食器等の片付けは各自で決められた場所に片付けをしている。クッキング保育ではさつま芋をつぶしたり、トウモロコシの皮をむいたりして、調理の工程も学んでいる。
- ・毎月1回は季節や行事にちなんだ“お楽しみランチ”を提供し、盛付けを工夫し子どもたちを喜ばせている。
- ・栄養士と調理スタッフは自らクラスに入り、子どもの食べている状況を確認したり、子どもたちと話をしながら様子を観察している。
- ・献立は月末に翌月分を配布し、各クラスにも掲示をしている。毎日、その日のメニューを掲示し、サンプルも展示しており、毎月の給食便りには人気メニューとレシピを掲載し、保護者の給食に対する興味を喚起している。
- ・運営委員会ごとに保護者の給食試食会を行っている。0歳児の保護者には離乳食の試食も行い、栄養士が栄養や味付けについて詳しく説明している。
- ・午睡時は電灯を消し、カーテンをひいてうす暗くし、静かに眠れるようにしている。
- ・乳幼児突然死症候群の対策としては、0歳児は5分に1度、1歳児は10分に1度の呼吸確認し記録している。
- ・年長は、就学に向けて適切な時期より午睡を取りやめるが、子どもの状況により弾力的に対処している。
- ・トイレトレーニングは保護者の意向を聞いて、1歳児からスタートするが、子ども一人一人の排尿時間を全て記録し、リズム把握の上情報は全職員で共有し、子どもに無理がかからないように行っている。特に保護者の気持ちを最優先にするが、焦らないようにと説得しながら進めている。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- ・健康管理マニュアルに従って、0,1歳児は毎朝の検温、視診、触診、睡眠状況などを記録している。2歳児以上は体温や気になる健康上の点について記録している。お迎え時には保護者には園での子どもの健康状況を報告し、降園後の対応につき相談し、アドバイスをしている。
- ・1歳児より食後の歯磨きを実施している。歯磨きの仕上げは職員が行っている。
- ・一人一人の健康診断、歯科健診の記録があり、入園時からの履歴がひと目でわかるようになっている。受診結果は保護者へ連絡している。
- ・感染症マニュアルにより、登園停止基準などは4月の保護者会でプリントを配布し、説明している。感染症が流行する時期には、事前に注意・症状・予防法などをプリントで配布し、掲示をしている。
- ・保育中に発症したときには、保護者に速やかに連絡しお迎えをお願いするが、時間がかかる場合は子どもを事務所に隔離しながら対応している。
- ・地域で感染症がでたときには、南区保健センターの指示に従い対応するとともに、掲示をして保護者に伝えている。
- ・職員にも周知できるように、情報はその都度回覧等で伝えている。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・衛生管理マニュアルは各園の意見に基づき、設置法人でその都度検討訂正を行っている。
- ・プール衛生マニュアルの改訂に際しては、職員全員に配布し、熟読を促したうえで、プール保育の際、園長も職員と一緒に実地見分を行い、マニュアル内容の適切な実施を確認している。
- ・毎日の清掃チェック表により園内外を清掃し、おもちゃなどの消毒も行い清潔に保つようになっている。

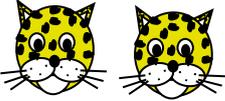
## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



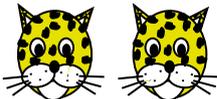
- ・安全管理マニュアルに従い、職員は入社時研修を受けているが、日常の職員会議、ミーティングでも安全について話し合っている。
- ・設置法人には各園の委員で構成される安全委員会があり、他園の委員による安全チェックを定期的に受け、安全への見直しや再確認を行っている。
- ・地震を想定して家具などの転倒防止を施している。
- ・災害時、通報・避難・消火訓練は毎月一回行っている。
- ・全職員は幼児安全法の資格を取っている。
- ・緊急連絡機関のリストは玄関フロアに掲示されていて、緊急時には職員誰でも連絡できる体制をとっている。
- ・子どもがけがをしたときには、軽傷であっても保護者に連絡をし、アクシデント・レポートに記録し、反省、対応策の立案を含め、今後の事故防止に役立てている。
- ・事故内容は職員全員が周知できるよう伝言板や職員会議で報告し、改善策などについて話し合っている。
- ・玄関はオートロック式になっており、来訪者を確認してから開錠している。
- ・散歩時・園外保育のときにはココセコム（GPS機能付き非常事態発信機）を持参し万一のときのために対応している。
- ・不審者情報については、横浜市南区こども家庭支援課よりFAX通報があり、その内容を掲示して保護者に知らせるようになっている。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="193 170 454 203">Ⅱ－3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの言葉遣いや対応については、否定的言動を戒めるべく、25年度の園内研修テーマを「子どもへの言葉がけ」とし、全職員一丸となって話し合いながらスキルアップに取り組んでいる。職員会議でも必ず本テーマに立ち戻り、職員がお互いに注意し合っている。</li> <li>・保育室の中央に位置する調理室、職員更衣室前に通ずる通路は、子どもの恰好な隠れ家となり、子どもも時々、利用している。事務室の奥まったコーナーは子どもと職員の1対1で話し合うことができる場所として利用されている。また、必要に応じてほかの子どもから離れプライバシーを守ることもできる。</li> <li>・個人情報保護マニュアルが整備されており、守秘義務や個人情報の処理方法等について、入社時に説明があり、全職員が周知している。個人情報の取り扱いについては、保護者へは入園時の説明会で説明し、了解を得ている。個人情報に関する記録は、事務所内の施錠のできる場所に保管している。</li> <li>・性差に関して、遊びや役割、食事の席、持ち物、服装、クラス名簿などは性別による区別をしていない。また子どもや保護者に対して、父親、母親の役割を固定的にとらえた話し方はせず、表現内容に気を配っている。日頃より、職員には性差による差別的発言や態度、固定観念で保育しないように職員会議で話し合っている。</li> </ul>
<p data-bbox="193 985 603 1019">Ⅱ－4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者には入園前面接のとき、園長が保育方針や理念を詳しく説明するほか、入園後の運営委員会でも説明している。</li> <li>・個々の保護者との情報交換・連携は0～2才児では毎日の連絡帳により、3～5才児では各クラスに置く連絡帳により、その日の子どもの様子や活動を伝えている。</li> <li>・保護者との面談週間を設け、相談内容を記録して、担任職員が変わっても継続的にフォローできるようにしている。期間中、都合の悪い保護者には相談のうえ別の日を設定している。</li> <li>・面談では家庭での様子を聞き、保護者の意向を尊重しながら、園の保育方針を伝えている。</li> <li>・「園だより」を毎月発行し園の様子を知らせるほか、日常保育や行事のときの様子を写真に撮り展示している。</li> </ul> <p data-bbox="724 1435 981 1462">&lt;コメント・提言&gt;</p> <p data-bbox="724 1464 1481 1592">行事後などに参加保護者より、行事に関する意見をアンケート記入などで集めておられますが、今一つ設問の工夫により理念、園目標などの理解に関しても理解程度を把握し、対応できるよう期待します。</p>

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週木曜日、地域住民向け子育て相談会を開催し支援ニーズの把握に努めている。</li> <li>・南区子ども家庭支援課などの関係機関や、幼保小会議に園長が出席して諸課題の研究会に参加している。</li> <li>・地域住民との交流の場が少ない現状をどう改善するか、年度末や年始めに職員会議で話し合っている。</li> <li>・延長保育・障がい児保育・産休明け保育など、地域の子育てを支援するためのサービスを提供しているほか、園の栄養士などによる育児相談会の門を開けている。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <p>地域住民との交流が少ない現状にかんがみ、給食の試食会とか幼児食の講習会、園庭開放などさらなる具体策の実施が望まれます。</p>
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区役所などの行政機関や医療機関からの情報は事務室前に展示している。また、園の案内パンフレットは南区役所の関係部署に置いている。</li> <li>・毎週木曜日、育児相談を受け付けている。入口の門に育児相談の案内を掲示している。</li> <li>・園の行事についての地域住民へのお知らせは、近隣商店やコンビニエンス・ストア、地域ケアプラザ、近隣保育園などに掲示してもらい、情報提供に努めている。</li> <li>・南区役所や消防署、児童相談所、療育センター、学校など行政機関や地域団体との連携は園長が担当しているが、日常的に連絡を取り合い、相談内容に応じてこれら関係諸機関や団体と連携ができるようにしている。</li> </ul>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

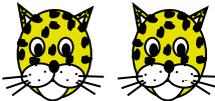
評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園生や近隣の住民を夏祭りなどの園の行事に招待し、園児と一緒に楽しんでいる。</li> <li>・子どもたちが散歩や遊びに行く近所の公園の掃除を行う計画をしているほか、地域に住む女子大学生の保育実習を受け入れて近隣との友好関係を築くための取り組みを行っている。</li> <li>・毎年、地域の南吉田小学校の体育館を借りて運動会を実施したり、朝の散歩で横浜市管理の「蒔田公園」や「富士見川公園」などを訪れて、利用している。</li> <li>・朝の散歩のとき、公園や道で出会う地域の人びとと挨拶を交わし、交流を図っている。</li> <li>・横浜市男女共同参画センター「フォーラム南太田」での生活発表会に園児を参加させ、子どもたちに地域社会との交流の経験を味あわせている。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;          いろいろな地域の行事や活動に園児が参加できるよう、さらなる配慮が望まれます。</p>
<p><b>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区役所など関係機関に園のパンフレットを置いているほか、設置法人のホームページで情報提供している。</li> <li>・地域の情報媒体「まみたん園ナビ」（横浜市南区版）に対して園の情報提供を行っている。</li> <li>・園の基本方針や利用条件、サービス内容についての問い合わせには、園長が対応しているが、一般職員も何を伝えるべきか心得ており、ご案内する事ができる。</li> <li>・希望者は随時見学できることをパンフレットやホームページでお知らせしている。</li> <li>・見学者の都合により、土曜日見学にも対応している。</li> <li>・利用希望者と同年齢児の保育状況を見学したいとの要望が多く、対応するようにしている。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;          園独自に地域の外部の情報提供媒体に対して、保育所の情報を提供し、広く地域の子育て世代に園の存在を周知してもらおうことを期待します。</p>
<p><b>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや実習生を受け入れるためのマニュアル等が整備されている。</li> <li>・マニュアルに基づき、守秘義務、子どもとの関わり方など基本的な考え方を職員や保護者に事前に説明しているが近年ではボランティア受入れの実績がない。</li> <li>・実習生では女子大生数人を受入れて来た実績がある。日々の実習につき助言をしたり、反省会を開いて次の活動計画・方針を設定するための指導をしている。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;          ボランティアの受け入れは地域住民の保育園に対する理解を得るのに有効ですし、同時に、地域における福祉の風土づくりの一翼を担っていますので、前向きな取り組みが望まれます。</p>

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1 職員の人材育成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人が策定した「人材育成ビジョン」に基づき、各職員の持つ知識や経験に照らし、今後どう育成するかを明確にした人材育成計画が策定されている。</li> <li>・各職員の資質向上に向け個人別の年間研修計画があり半期に一度、自己評価を行ない見直しをしている。</li> <li>・職員は職位別研修や、自由選択研修を定期的に履修している。非常勤職員は社内研修を中心に履修している。</li> <li>・研修の成果は会議などで研修資料を回覧・説明して、全職員が成果を共有するようにしている。</li> <li>・全職員の研修受講記録は個別に整理されており、各人の研修内容を半期ごとに評価し、見直している。</li> <li>・園長は各人の性格・経験などを考慮して、職員と非常勤職員の業務遂行上の組み合わせを行っている。</li> <li>・園長は非常勤職員の指導担当者として、非常勤職員に毎日の連絡ノートなどの資料を必ず見るよう義務づけ、職員と同一な資質向上に取り組んでいる。</li> <li>・各職員の研修受講実績は点数管理して、資質査定の資料としている。</li> </ul>

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-2 職員の技術の向上</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価への取り組みを行う過程で、全職員が自己評価を行い日常を振り返ることとしている。</li> <li>・指導計画の年間、月案、週案に「評価・反省欄」があり、職員が自己評価できるように書式を整えている。</li> <li>・園長は近隣保育園の園長会や幼保小会議で得られた他園の良い事例を園に持ち帰り、実践に活用している。</li> <li>・事故・怪我予防プロジェクトの一環として、外部の産業総合研究所・研究員に、技術指導を受けている。</li> <li>・第三者評価への取り組みで、各職員が自己評価に続いて、園全体・保育所としての課題をまとめることなどの自己評価を行っている。自己評価の結果は第三者評価に反映され、インターネットにて公開されている。</li> </ul>
<p><b>V-3 職員のモチベーションの維持</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員の経験・能力に応じた役割が期待水準として、「人材育成ビジョン」の中で明文化されている。</li> <li>・緊急時や園長不在時、状況に応じ自主判断が出来るよう、園長は一部職員に権限委譲し責任を持たせている。</li> <li>・園長は職員からの相談に対し、先ず自分はどう考えるかを聞き、自主的判断力の養成に努めている。</li> <li>・園長は職員が業務改善提案をしやすい雰囲気を作って、その意見・要望を聴取している。</li> <li>・園長は職員との個人面談で、職員の要望や満足度を把握し、職員各人のモチベーション維持に努めている。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織や各職員が守るべき法、規範、倫理等は就業規則や業務マニュアルに明記されている。</li> <li>・社内にコンプライアンス委員会が設けられており、趣旨が職員更衣室前に掲示されている。</li> <li>・他施設での不正、不適切事案は園長会議などで報告され、園長は速やかにそれを全職員に伝え、そのような行為を絶対に行わないよう啓発している。</li> <li>・行事後のゴミは各自持ち帰る、エコキャップ活動にも参加するなど、ゴミ減量化に取り組んでいる。</li> <li>・不用な電気を消す、各室に扇風機設置しエアコンの温度調整するなど省エネに取組み、プランターで朝顔などの草花、おくら・さつま芋・ラデッシュなどの野菜類を育て、緑化の推進にも取り組んでいる。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt; 省エネ・緑化など環境への負荷の低減に資する考え方や取り組み方につき明文化することが望まれます。</p>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が入社時に設置法人代表による「代表研修」を受け、園の理念や基本方針の説明を受けている。また基本方針に基づき、園独自の「保育目標」を玄関入り口に掲示して職員に周知し、理解度の確認を図っている。</li> <li>・園長は重要な意思決定やその変更に当り、職員会議などで意見交換した上理解を求め、保護者には運営委員会で説明して了解いただいている。</li> <li>・設置法人の企画部門や園長の上司に当たるエリアマネージャーなどによる検討チームで園全体の課題に対応している。</li> <li>・園長は職員のシフト調整を行う中で、各職員の朝の体調に気を配り、精神的・肉体的に良好な状態で勤務できるよう配慮している。</li> <li>・主任が配置されていないので、園長はフローア・リーダーを主任代行に指名し、園長補佐として、各職員的能力・経験に合わせた的確な助言や指導を行っている。</li> </ul>
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営に影響のある重要な情報の多くは設置法人本部から来るが、園独自でも新聞・雑誌などで一部、収集、分析を行いファイルしている。</li> <li>・収集された重要な情報はリーダー会議や職員会議で議論し、全職員間の重点改善課題としている。</li> <li>・運営面での重要な改善課題は今のところ存在しないが、将来発生した時は保育園全体の取り組みとする事が確認されている。</li> <li>・昨年、策定された5年中期計画は、昨年度実績をもとに見直されて平成25年の年度計画となっているが、26年度以降は明確な計画になっていない。</li> <li>・次代の組織運営に備え、設置法人本部の助言のもと新たな仕組みを検討している。</li> <li>・次代の施設運営に備え、園長候補をOJT研修などで育成している。</li> <li>・運営に関し、外部の産業総合研究所・研究員を招き、事故や災害から子どもの命を守る、傷害予防の意見や技術を取り入れる努力をしている。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt; 保育園としての自己評価から園の課題をまとめていますが、これを中長期的に解決するための計画を策定することを期待します。</p>

## 利用者家族アンケート

施設名:アスク吉野町保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

### 結果の特徴

#### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数55名、全保護者47家族を対象とし、回答は26家族からあり、回収率は55%だった。

#### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収した。

#### ◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、肯定的な回答は85%(満足27%、どちらかといえば満足58%)となっており、「どちらかといえば不満」の回答が15%あった。

#### ◇ 比較的満足度の高い項目

- 1) 入園するときの設問で、「子どもの様子や生育歴を聞く対応」、「保育園の1日の過ごし方の説明」については肯定的な回答が、それぞれ96%、92%と高かった。
- 2) 日常生活の「遊び」については、6項目全体の設問を合わせると(「満足」「どちらかといえば満足」)の回答が、90%と高い評価を受けている。
- 3) 「生活」については、7項目の設問全体で肯定的な回答は91%と高く、園における生活は高く評価されている。特に、給食については100%が肯定的回答となっている。
- 4) 園と保護者との関係については、7項目全体の設問を合わせると、肯定的回答が86%となっている。
- 5) 職員の対応については、5項目全設問合わせると、肯定的回答が84%となっている。

#### ◇ 比較的満足度の低い項目

- 1) 園の施設設備については、「どちらかといえば不満」「不満」を合わせた回答が38%あって、満足度は低い。
- 2) 園の快適さや安全対策については、「落ち着いて過ごせる雰囲気」、「外部からの不審者侵入防止」及び「感染症に関する情報提供」の設問で「どちらかといえば不満」「不満」を合わせた回答がそれぞれ27%、23%および27%になっている。
- 3) 園と保護者との連携・交流について、「園の様子や行事に関する情報の提供」の設問に対し、「どちらかといえば不満」「不満」を合わせた回答が31%になっている。

## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	19%	57%	12%	12%	0%	0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	70%	30%	0%	0%	0%	0%

## ■施設のサービス内容について

### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	38%	31%	0%	4%	27%	0%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	42%	42%	12%	0%	4%	0%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	35%	49%	12%	0%	4%	0%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	42%	54%	0%	0%	4%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	38%	54%	4%	4%	0%	0%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	50%	27%	23%	0%	0%	0%
	その他:					

### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	23%	65%	12%	0%	0%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	15%	61%	12%	0%	12%	0%
	その他:					

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	46%	50%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	35%	50%	11%	4%	0%	6%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	35%	61%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	23%	54%	19%	0%	4%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	38%	50%	12%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	42%	54%	4%	0%	0%	0%
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	73%	27%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	62%	38%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	65%	31%	0%	0%	4%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	50%	42%	4%	0%	4%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	50%	42%	0%	0%	8%	0%
	その他:					
お子さんの体調への気配りについては	50%	42%	8%	0%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	23%	39%	19%	19%	0%	0%
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	8%	46%	30%	8%	4%	4%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	27%	46%	27%	0%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	35%	42%	23%	0%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	31%	38%	27%	0%	0%	4%
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	38%	54%	4%	0%	4%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	54%	42%	0%	4%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	46%	42%	12%	0%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	31%	38%	23%	8%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	27%	57%	12%	4%	0%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	27%	57%	12%	4%	0%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	54%	38%	4%	4%	0%	0%
	その他:					

### 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	39%	58%	0%	3%	0%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	42%	46%	12%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	27%	46%	4%	0%	19%	4%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	23%	54%	8%	11%	4%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	27%	58%	11%	4%	0%	0%
	その他:					

### 問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	27%	58%	15%	0%	0%

## 観察方式による利用者本人調査

平成 25 年 9 月 11 日、19 日

施設名：アスク吉野町保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

### ◇0 歳児

(朝の会)

1 歳児と一緒に朝のひと時を遊んだ後、各別々の空間に移り、0 歳児はテーブルにつき、椅子に座って朝の会が始まる。職員の“先生おはよう、皆さんおはよう”の歌をキョトンとした表情で見つめている。次に点呼では、名前を呼ばれると手を挙げて、職員と得意気な表情でハイタッチをしていた。

(午前の自由遊び)

就寝中の一人を除く 5 人が、柔らかいクッションの効いた床の上に両足を広げて座っている。ハイハイしてパーテーションにつかまり立ちして、手をふっている子もいる。大きめのブロックを片手にご機嫌よく遊んでいる子もいれば、片手にもったブロックを職員にあげようと試みている子、気に入ったブロックが取れず泣きながら職員にしがみつくと、下の前歯が 2 本生えてきてムズ痒いのか硬いブロックを口に入れてなめたりしている子など、その子なりの個性を発揮している。

おやつ前に一斉取り替えしたオムツがそろそろ替えるタイミングにあるようで、一人一人の排泄リズムを職員が判断して、子どものプライバシーを配慮しながらおむつを替えている。

(午睡と寝起き)

昼食後、オムツを取り替えてもらい、パーテーションで仕切られた食事の場所から睡眠の場所に移り、職員に優しく背中をさすってもらいながら、すぐに寝ついていた。

午後のおやつのはじめ、大きなサークルの中で、大きなブロックを組み合わせたり、外したり、また、サークル越しに職員と話したり、午後のゆったりした時間を過ごしていた。

### ◇1 歳児

(朝の会)

0 歳児と分かれて、自分たちの部屋で、朝の歌を歌う。その後テーブルの椅子に座り、職員のお話しを行儀よく聞き、配られた朝のおやつをおいしそうに食べていた。

(午前の遊び)

今日は園の玄関前人工芝園庭でシャボン遊びを始めた。バケツに水を入れ、職員はその中に中性洗剤や泡に粘りを与えるのり状の物を加え、かき混ぜると、若干粘りのある石鹸泡ができて上がる。子どもたちはその泡を楽しそうに、タコ焼きの型やプリン型の型、ケーキ

の型に入れて並べ、にわか泡菓子の屋台があちらこちらに出現した。クラス担当職員は全員で、一人一人の子どもたちが口や目に入れなくて安全に遊んでいる様子を注意深く見守っていた。

(午後の遊び)

床に電車のレールを敷き、思い思い電車や自動車を手に持ち、レールに沿って走らせていた。型にはめていくパズルも一生懸命に行い、でき上がると職員に誇らしげに見せにいき、ほめてもらっている子どももいた。

## ◇2 歳児

(2～5 歳児合同朝の会)

2 歳～5 歳児は合同の朝の会で、年齢別に並び、年長さんの当番が前に出て、朝のご挨拶の歌をリードしていた。次に“トンボのメガネ”の歌など年長組が大声で歌うのを、2 歳児組は、自分も今と一緒に歌おうとするように一生懸命に見守っている。終わるとすぐトイレタイムで、その後自分たちの保育室に戻って、楽しそうにおやつを待っていた。

(散歩)

今日は 2 歳、3 歳児合同で、蒔田公園に散歩に出る。コンビニの前では、声を掛けてきた近所のご老人とハイタッチで挨拶をしていた。蒔田公園では年齢別に 3 人ずつで徒競争を行い、後続の 4～5 歳児が合流すると、2 歳児は公園の対角線上にあるトンネル型滑り台に移動し、しばらく遊んだあと、再点呼を受け、帰路についた。相当体を使った散歩だったが、疲れを見せずに元気に歩いていた。

## ◇3 歳児

(午前の遊び) ; 散歩のないとき

職員がパレットの上に、肌色、黄色、緑色の絵具をのぼす。子どもたちは思い思いのプラスチックブロックを持ちより、その凸面をスタンプに見立てて、絵の具につけ画用紙にプリントして行く。色とりどりの幾何学模様が画用紙上にちらばり、子どもたちは自分たちが作りだす造形に大喜びで楽しんでいた。

(昼食)

お当番がテーブルの上を布巾でキレイに拭くと、いよいよ昼食の時間だ。子どもたちは各人が自分用の椅子を取り出して、テーブルのそばに並べていく。座席の位置はあらかじめ決まっているようである。お当番が各人の席の前に食事用のトレーを配り歩く。アレルギー児用の除去食・代替食対象の子どもがおり、別個の黄色トレーにのせられた昼食が、栄養士と担任職員によりチェックされたあと、提供されている。誤食防止は徹底しているように見受けられる。

子どもたちは床に多少食べものをこぼしているが、職員はだまって見守り、食の遅い子には量を減らしてやることはあっても、急がせることなく見守っている。ほとんどの子が

食べ終わると、「冷たいお手ふきタオル」が配られ（注、3才児のクラス迄）子どもたちは汚れた手や口元をきれいにぬぐい、みんなで「ごちそうさまでした」と唱和する。子どもたちは自分の食器を職員のいるテーブルまで持って行き、あとかたづけに協力している。

（午後のおやつ）

パジャマを脱いで洋服に着替えが終わると、子どもたちは各自、パジャマやタオルケットをたたみ、布団を収納する。大きなマットレスを小さな両手で抱え込みながら、職員のいる“押入れ”（収納庫）まで運んでいく。

こうして整理された床に職員がテーブルを並べ、子どもたちが各自、椅子を並べると、おやつの時間が始まる。子どもたちは上手に箸を使い、お友達と笑顔でおしゃべりをしながら、午後のひとときを楽しんでいる。

#### ◇4～5 歳児

（朝の会）

13 人の異年齢児を一室に集めての朝。軽い体操が終わると職員が出欠を取り始める。点呼が終わると子どもたちは壁際に座り、職員の今日は何月何日？何曜日、お天気は？との問いに元気に答えている。やがて、子どもたちは“出席ノート”を出しシールを今日の日付の所に貼り付けている。「正しい所に貼らないと、今日は欠席になっちゃうよ」と職員の注意がとぶ。一部の子からは“今日はお月見の日だよ”と、うれしそうな声上がる。

（散歩）

今日は蒔田公園までのお散歩である。2人ずつ手をつなぎ、左側の歩道を歩くが、貨物を出し入れしている駐車中のトラックを避け、交通信号に目を配り、信号のない横断歩道では片手を上げて左側を通るなど、前後に職員が付き、注意しながらの散歩は、職員も子どもたちも一苦勞である。公園までの数十分、それでも子どもたちは結構楽しそうに歩き、ある子どもは、青空高く銀色に輝く旅客機を見つけ、「飛行機だ、ヒコーキ！」と歓声をあげて喜んでいる。

公園に到着後、子どもたちは運動会のリレー競争の練習を始める。身長順に2人ずつ並び、ピンク帽子と黄色帽子の2組が円形バトンをリレーする。

一周50メートル程のトラックをどの子も全力で走りぬいている。第2コーナーで滑って大転びした子もいたが、泣きもせず頑張った。

バトンを落とす子や、転ぶ子もいたので、職員は2回戦でリレー競争を打ち切り、子どもたち全員を木陰に集め、バトンの持ち方・受け渡し方、コーナーの走り方などを、やさしく説明しはじめた。

（クッキング保育）

今日はクッキング保育を行う。まず、すでに調理室でふかされ、皮をむかれ大雑把に切り分けられたさつま芋をポリエチレンシートで包み、子どもたちは手でつぶす。それを一人一人丸く伸ばし、レーズン、人参などで眼鼻をつけていく。子ども作のスイートポテト

人形はすぐに調理室に運ばれ、オーブンで焼くこと約十分。おいしそうなスイートポテトケーキができ上がり、自分で作ったお菓子を嬉しそうにみんな頬張っていた。

## H25 年度第三者評価事業者コメント

### (アスク吉野町保育園)

#### 【受審の動機】

第三者の公正で信頼性のある機関により、専門的かつ客観的な視点で評価していただくことで、運営方針である「利用者に本当に求められているサービスを提供する」ということをはじめとした方向性が確実に利用者に届いているかを把握していきたいというねらいが受審の動機です。

また、評価機関の選定につきましては、昨年と同じ評価機関に評価を依頼することで、昨年度の課題に対する取り組みがどのように評価され、新たな課題を明確にできると考えております。また運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただくと考えました。

評価結果を公開することにより、地域に開かれた保育園として信頼を得るとともに、保護者が自らの判断で保育園を選択するお手伝いできればと思っております。

今回の評価を通し、保護者や職員の意見を元に業務改善に取り組み、更なるサービスの向上を目指していきます。

#### 【受審した結果】

今年度の第三者評価を受審し、自己評価での個々や自園の見直しを図ったことは、日常の保育では気が付かなかった問題や具体的にどのようにすべきかを悩んでいた問題が明確になり、新たな気づきが得られる良い機会となりました。

また、利用者家族アンケート内の「遊び」と「生活」に関しまして、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせますと 90%という嬉しい結果をいただきました。ひとえに保護者・関係者の皆様の日頃からのご協力のおかげと考えております。今後も「利用者が本当に求める保育サービス」をさらに追及し提供するために、職員一丸となってより一層努力していきます。

今後の課題についてですが、保護者への情報伝達を重点課題として対処し、普段保育の様子を保護者に伝えることを強化し、感染症情報等についての掲示にも工夫していきたいと考えております。また地域の子育て支援家庭や住民との交流の中でニーズを把握し、育児相談活動やボランティア受け入れ等を通じて、今までより活発に地域開放・地域コミュニティへの働きかけを行っていききたいと考えております。

最後に今回の受審にあたって、ご多忙にも関わらず利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様、ご尽力いただいた評価機関の皆様にご心より感謝申し上げます。